

# かわねほんちょう 議会だより

第64号

令和3年11月発行

発行 / 川根本町議会  
編集 / 議会広報委員会



## 協力し がんばり続ける 夕宮の子

中央小学校運動会 (10月9日)



気持ちをこめて選手宣誓

町政の新しい体制が決まりました……………	2～3
令和2年度一般会計・特別会計決算を認定……	4～5
令和2年度 決算特別委員会報告……………	6～7
決算特別委員会 現地調査報告……………	8
9月議会で決まったこと……………	9
新しい12人の議員紹介……………	10
2人の議員が町政を問う……………	11～13
森林環境譲与税事業について……………	14～15

### シリーズ

明日を拓く人たち(天鹿(シシカミ)プロジェクト)……	16
----------------------------	----

開かれた議会を目指して…

# 新しい体制が決まりました

10月22日、令和3年第4回臨時会が開催され、正副議長をはじめ委員会等の委員が決まりました。

## 議長あいさつ

議長

杉山 広 充



10月22日の臨時会において、議長に選任されました。その責任を強く感じています。議長の職務を全力で遂行し、「安心して暮らせる町」づくりに努めます。

今回の選挙に関わることで、町民の皆様のご信頼を損なうことが起こりました。今後、議会が一丸となり「政治倫理」を遵守してまいります。本町では、少子高齢化等に関わる課題が多々あります。この課題解決には、町民の皆様の思い・意見等を踏まえ、判断のベースとして、議員間討議をしていく覚悟です。

本町には、県内の町村の中で一番早く制定された「議会基本条例（平成25年）」があります。議員研修に生かしていきます。

今後とも、ご指導・ご協力をお願い申し上げます。

## 副議長あいさつ

副議長

中原 緑



臨時会におきまして、副議長に選任されました。その重責に身が引き締まる思いです。

新しくなった議会の職務を遂行する議長を、副議長として全力で補佐し、微力ではありますが町議会と行政とが良好に動き、町民にとってより良い住民サービスへつながるような確かな議会運営に努めてまいります。

新町長体制が始動しました。人口減少など町の課題を克服するための施策を注視し、しっかりと議論を重ねていくことが重要と考えます。

また、町民の皆様には「議員、議会」をもっとわかりやすくし、女性や、若い方にも関心を持っていただけるような身近な議会を目指します。

2年間よろしくお願い致します。

## 藪田靖邦町長より「ごあいさつ」



この度新たに川根本町長に就任いたしました藪田靖邦です。

私にいただいた一票一票の重み、そして、そうでなかった方々の一票一票の重みもしっかり受け止め、その重大な責任に身の引き締まる思いです。

まず始めに、私が大好きな川根本町、そしてそこに住まう大切な住民の方々の安心と安全をしっかりと守ることを最優先することを約束します。三回目のワクチン接種を速やかに行うと同時に、感染防止を徹底しながら、町内の経済活性化を図ってまいります。

そして町の未来に思いを馳せる時、人口減少をなんとかしてでも食い止めなければなりません。その為には移住定住対策を今以上に強化し、明るいつるぎ本町を築いていきます。住民の皆様の声に耳を傾け、住民の皆様にご寄り添い、小さな町だからこそ出来る政策を推進してまいります。

## 第一常任委員会

担当…総務課・企画課・情報政策課・税務住民課・くらし環境課・健康福祉課・高齢者福祉課に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項



委員長 澤西省司



副委員長 野口直次



委員 藤田至



委員 大竹勝子



委員 中野暉



委員 中原緑

## 第二常任委員会

担当…農林課・建設課・観光商工課・教育委員会の所管に属する事項



委員長 石山貴美夫



副委員長 中澤莊也



委員 佐々木直也



委員 中野浩和



委員 中田隆幸



委員 杉山広充

## 議会運営委員会

議会運営委員会は、議会や委員会の条例・規則、本会議の日程等、議会運営に関する事項を決定する重要な組織です。

委員長 中澤 莊也 委員 藤田 至  
副委員長 石山貴美夫 〃 澤西 省司  
〃 野口 直次

## 広報委員会

年4回発行する議会だよりの編集や議会ホームページの編集などを行います。次号の議会だよりにから編集を担当します。

委員長 中原 緑 委員 佐々木直也  
副委員長 石山貴美夫 〃 藤田 至  
〃 大竹 勝子

## 一部事務組合議会議員

志太榛原4市2町で構成され、障がいのある児童が入所し、発達段階や特性・能力に応じた生活・職業訓練を行う一部事務組合の議会職員です。

駿遠学園管理組合議会議員

佐々木直也

# ● 特別会計決算を認定

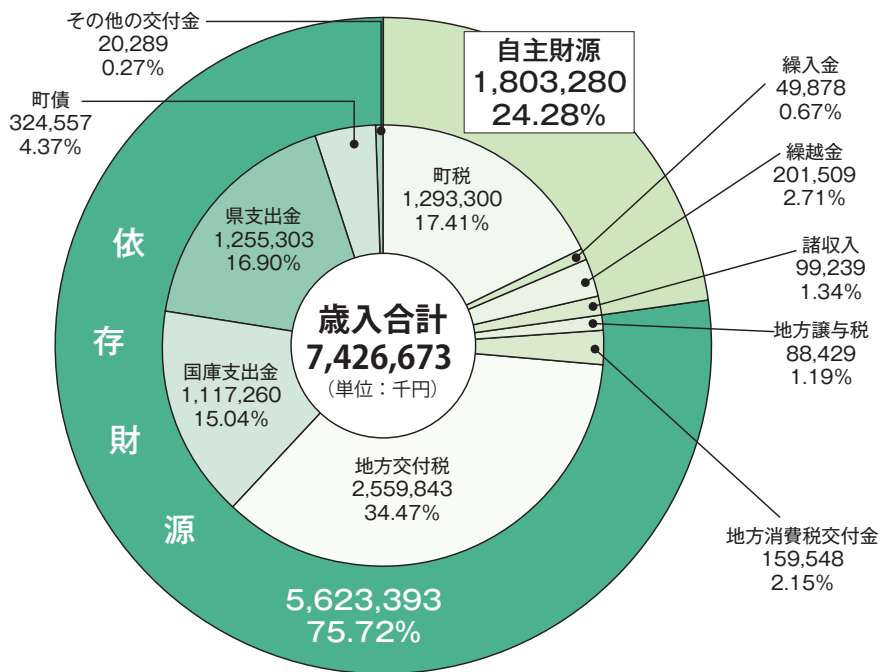
- ▶ 決算審査は9月1日から5日間で、議会で事前に抽出した令和2年度の35主要事業を中心に、事業実績や状況などの詳細説明を担当課より受け、委員より多くの質疑や意見が出され活発な決算審査が行われました。
- ▶ 決算委員会最終日の9月14日には、現地調査を行なった後に委員会採決を行いました。
- ▶ 9月21日の定例会最終日では、委員長報告の後に決算認定議案7件の起立採決を行い、全員賛成で認定しました。

## ☆ 5年間の町税の推移

(単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
町 民 税	310,847	284,124	305,575	283,222	287,310
固 定 資 産 税	981,481	982,780	969,343	959,615	948,093
軽自動車税	25,954	26,363	26,932	27,828	29,607
町たばこ税	28,047	26,217	24,893	25,455	25,098
入 湯 税	5,384	5,538	5,387	5,309	3,192
歳 入 合 計	1,351,713	1,325,022	1,332,130	1,301,429	1,293,300

## 【令和2年度決算】 一般会計歳入の内訳



## ☆ 特別会計歳入歳出決算認定

(単位：千円)

	年度	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	簡易水道	訪問看護	いやしの里診療所
歳 入 決 算 額	元年度	841,883	125,378	1,279,987	310,379	18,130	62,162
	2年度	855,502	128,934	1,274,510	241,740	18,210	59,474
歳 出 決 算 額	元年度	820,348	125,167	1,266,344	301,109	17,941	62,082
	2年度	844,388	128,750	1,264,394	230,730	18,098	59,376
歳入歳出 差 引 額	元年度	21,535	211	13,643	9,270	189	80
	2年度	11,114	184	10,116	11,010	113	98
2年度当初予算額		883,072	134,293	1,327,092	266,270	20,968	66,378

# 令和2年度 一般会計

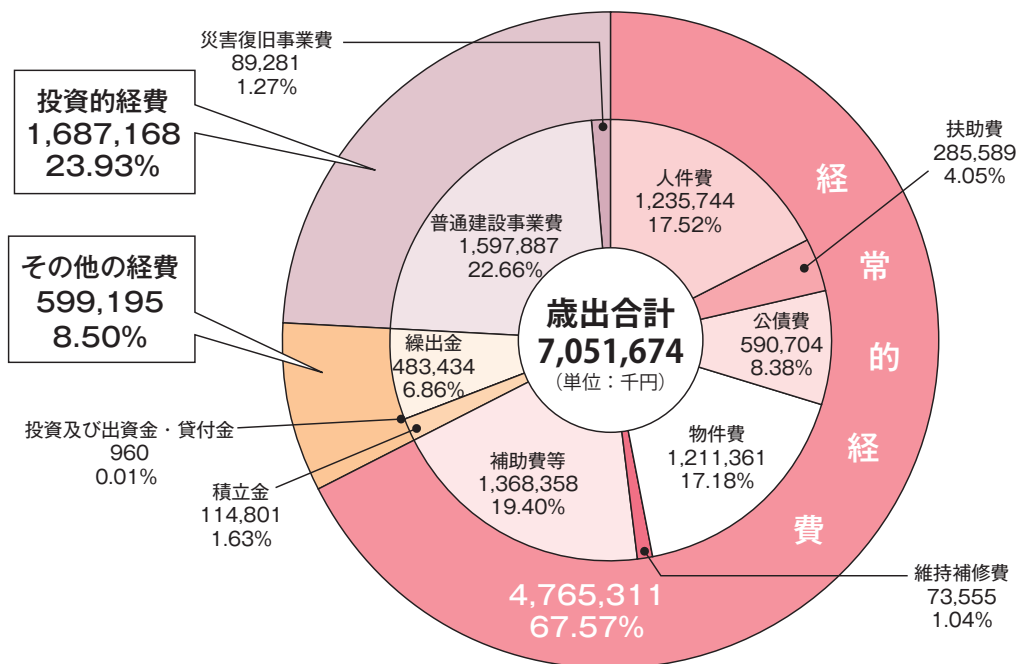
- ▶ 9月議会定例会においては、令和2年度の一般会計及び特別会計（6事業）の決算状況について、決算特別委員会で質疑・審査を行いました。
- ▶ 他に、川根本町議会として発議第2号（コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書）を内閣総理大臣はじめ多数の主要閣僚に提出いたしました。

## ☆ 5年間の基金残高と起債残高の推移

(単位：千円)

	各種基金	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会計基金	財政調整基金残高	1,687,754	1,190,663	914,339	876,950	879,499
	減債基金残高	94,098	87,685	81,356	75,105	75,107
	その他特定目的基金	1,979,628	1,985,509	1,996,307	1,939,017	2,003,505
特別会計基金	国民健康保険給付等支払準備基金残高	124,792	126,702	144,655	133,660	119,666
	介護給付費準備基金	53,110	91,112	114,115	133,116	133,119
	簡易水道基金残高	16,475	16,408	13,756	13,756	17,970
	起債残高	5,762,955	5,667,062	5,551,261	5,320,948	5,072,096

## 【令和2年度決算】 一般会計性質別歳出の構成費



## 広報委員会の 決算における 着目点

- 平成30年度から令和2年度にかけて起債残高が年平均2億4千万円位ずつ減少している。一般家庭で言えば、借金が減っているということであり、いい傾向が続いている。
- 依存財源においては、令和元年と比較して令和2年度の歳入は18億円増えているが、国庫支出金と県支出金が主なもので、コロナ対策臨時交付金や大型茶工場建設補助などがあったためです。コロナウイルスが収まってからの財政運営が大切です。
- 自主財源が減少しているが、繰入金の関係があり一概に減っているとは言えない。しかし、町税は確実に減少しており毎年1千万円の減少の全ては固定資産税である。今後いかに町税を増やしていくかが問われることになるが、最近の世界的な木材価格の高騰がヒントになるのではないかと。

《審査日》 令和3年9月1日・2日・6日・7日・14日



# 令和2年度 決算特別委員会報告

9月1日の定例会本会議で決算特別委員会が設置され、委員長に野口直次、副委員長に石山喜美夫が選任されました。

審査は、令和2年度の決算書及び決算資料による執行状況の説明を中心に行われました。

14日の現地調査終了後、委員会採決を行い、令和2年度一般会計及び6つの特別会計決算認定について、全員賛成で原案のとおり認定しました。

委員会で審議された内容を、抜粋して報告します。

## ◎一般会計

…全員賛成

### ◎総務課

**問** 自治会活動保険の保険給付の対象は。

**答** 自治会が行う事業が対象だが、道路愛護など機械を使用する草刈り活動等は対象外であることから、年度当初の区長会にて別の保険に加入するように勧めている。

**問** 職員抗原検査キット購入事業（200セット）の活用状況は。

**答** 訪問看護や包括事業のように、町民と直接接触のある職員を主に定期的に検査を行い、安全確認に活用している。

### ◎企画課



**問** 空き家バンク事業開始からの総登録件数、令和2年度契約実績15

件の内、移住者となった件数は。

**答** 平成24年事業開始、これまでに67件の登録があり、その内46件の契約が成立、移住者9件ほどである。

### ◎会計課

**問** 基金の預金と債券の比率は。

**答** 比率に特段の定めはないが、現在のところは債券が43.7%、普通及び定期預金として56.3%を保有している。

### ◎観光工商課

**問** 新設した奥大井湖上駅駐車場への県道からの案内サインを設置すべきではないか。また、観光客等の路上駐車対策として何らかの対応をすべきではないか。

**答** 県道入口の案内サインは現在県土木事務所と調整中である。また、県土木事務所によ

る大型バスの乗降エリア（待機所）の測量がすでに実施されたと聞いている。



大型バスが止められるスペースを確保

### ◎税務住民課

**問** 徴収実績が上がっている。どのように滞納整理事務を行っているか。

**答** まずは実態調査を行い、その後滞納者との納付相談を行って、必要において分納契約を結んでいる。それが履行されない場合差押えも行ってはいる。

### ◎建設課

**問** 一筆地調査支援システムとは何か。また、水川地区の地籍調査の終了はいつ頃か。

**答** パソコン上に土地の所有者や調査情報を記録して、最終的に地籍簿を作成するシステムである。また、水川地区の終了は令和12年ごろを想定している。

### ◎高齢者福祉課

**問** 65歳未満で、ケガや疾病等で一時的に運転ができないケースは外出支援サービスの対象か。

**答** 65歳未満は基本的には対象外。ただし、特殊事情等は考慮されるため、まずは相談をしてほしい。

### ■介護保険事業特別会計の質問

**問** 介護サービス等諸費の中から、傾向として施設サービスから居宅サービスへ利用者のニーズが移行しているということがあるか。

**答** 従来、施設入所希望者が待機期間に居宅サービスを利用すると

という傾向が見られた。しかし昨今では自宅で生活し、今更施設入所しなくてもという考えが本人及び介護者に浸透しつつあるように思う。

### ○情報政策課

**問** テレワークシステム構築業務委託料とは。

**答** テレワーク用に購入したパソコン67台のシステム構築である。

職員が在宅で業務用のパソコンを操作できる環境構築をした。



**問** 来年度以降自治体DX推進計画の導入により、自治体も具体的なデジタル化への取組が求められるという認識でよいのか。

**答** 令和2年12月に自治体DX推進計画が示

された。それによると令和4年度末までに電子申請の一部が進められる。具体的には子育て、介護に関する手続きである。

### ○健康福祉課長

**問** 子育て支援施設の指導者の数は、また、それぞれの施設の定員は。

**答** 県開催の研修を受講済みの旧中川根地区4名、旧本川根地区3名である。施設の定員は、中川根20名、本川根40名である。

### ○暮らし環境課

**問** 消費者の相談件数の12件の内容は。



《間伐前》



《間伐後》

**答** 主にクーリングオフの相談、その他として電気料金の契約の見直しなど斡旋などである。

### ○農林課

**問** 茶業施設等整備強化事業費補助金はアタッシメント等の購入も補助対象となるのか。

**答** これまではアタッシメントなども対象としてきたが、令和3年度から見直しをし、機械本体の購入を対象と

なった。

**問** 里山林整備事業業務委託の実施にあたって地元の要望がうまく伝わらなかったケースがあった。事業実施に

当たっては地区要望のヒヤリングを行った上で実施すべきではないか。

**答** 町でも確認済みである。令和3年度から対象を森林整備の遅れにより生活環境の悪化を招いている箇所や枯損木の伐採を行うよう実施要領を改正した。

### ○教育総務課

**問** 公営塾指導管理業務委託の詳細について説明を。

**答** 平日の夕方と土曜日の週6日間、若者交流センター奥流の2階にて開校。令和2年度は118人の登録があった。対象は町内中学3年生、連携中学（川根

当たっては地区要望のヒヤリングを行った上で実施すべきではないか。

**答** 町でも確認済みである。令和3年度から対象を森林整備の遅れにより生活環境の悪化を招いている箇所や枯損木の伐採を行うよう実施要領を改正した。



(株)Birth47に平成30年度から委託。個別指導が基本で令和3年度から国公立大学への進学に特化したコースを開始した。

○簡易水道事業特別会計  
…全員賛成

○訪問看護事業特別会計  
…全員賛成

### ○社会教育課

**問** 徳山の盆踊りがユネスコ無形文化遺産となった場合に補助金の追加はあるか。

**答** 文化財保存団体の文化継承につながるような交流会等の事業実施を検討し、直接的な補助金は考えていない。

○いやしのみ診療所事業特別会計  
…全員賛成

### ○国民健康保険事業特別会計

…全員賛成

### ○後期高齢者医療事業特別会計

…全員賛成

### ○介護保険事業特別会計

…全員賛成

決算特別委員会委員長

野口直次

14日には、現地調査を行いました。次ページで報告します。

# 決算特別委員会 現地調査

9月14日(火)

## (現地調査の目的)

令和2年度に行われた事業の成果や費用対効果を確認するため、予算特別委員会に行政側から事前に提出された事業の中から、議員の関心が高かった事業（奥大井湖上駅駐車場整備工事等）の完成現場を視察し、担当課長等から事業の概要、効果等について詳しい説明を受けた。

**行程：**令和3年9月14日 朝（午前9時）役場本庁を町のマイクロバスで出発し、奥大井湖上駅整備工事（現地調査）→ レイクコテージ奥大井トイレ改修工事（資料提供、説明）→ 町道桑野山細尾線昇泉橋塗装修繕工事の進捗状況を確認 → 奥大井自然休養村管理センター（2階）改修工事 → 令和2年度一般会計決算認定

## ● 奥大井湖上駅駐車場整備工事

工事請負費 12,408千円

A=555㎡（17台）



来訪者の利便性と安全性の向上

## ● レイクコテージ奥大井トイレ改修工事

工事請負費 8,884千円

和式トイレの洋式化、一基増設、衛生設備、外構



利用者の利便性向上



ユニバーサルデザイン化

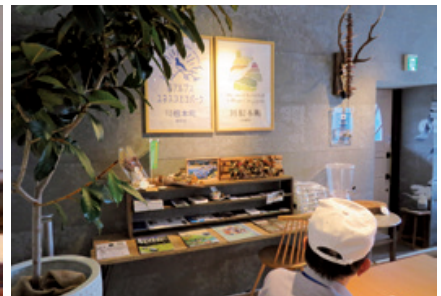
## ● 奥大井自然休養村管理センター（2階）改修工事

工事請負費 24,412千円

センター2階 改修  
厨房機器・テーブル等購入



山の自然に癒され、健康への気付きを感じる交流拠点



## ● 町道梅高中央線改修工事

工事請負費 36,443千円

道路拡幅改良 L=87.6m



道路を拡幅改良、安全に通行可能に



# 9月議会で決まったこと

(令和2年度決算認定議案を除く)

定例会初日(9月1日)に上程された議案9件(同意1件、議案8件)は、速報版でお知らせしたとおり、2日目の13日に全員賛成で可決した。最終日の21日には2人の議員が一般質問を行った。また、議員発議の意見書(コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書)1件も全員賛成で可決した。令和2年度決算は委員長報告後、全員賛成で原案のとおり認定した。(6〜7ページを参照)

## 同意1件(全員賛成)

### ○固定資産評価審査委員会委員の選任

筒井佳仙氏(再任)

## 条例の一部改正

### ○川根本町長及び川根本町議会議員選挙公報発行条例の一部を改正する条例

選挙公報に関し、必要な事項を電子データ

原稿を提出できるようになった。

### ○川根本町税条例の一部を改正する条例について

医療費控除の特例(セルフメディケーション税制)のさらに5年間の延長

\*セルフメディケーション税制

予防接種など健康の維持増進及び疾病予防

の取り組みとして、指定された市販薬の購入費用が年間1万2千円を超えて支払った場合には、その購入費用(年間10万円程度)のうち1万2千円を超える額を所得控除する制度

## その他

### ○公の施設の指定管理者の指定について

(川根本町接岨峡温泉施設)

令和3年10月から令和7年3月までの期間、指定管理者として西東石油(株)(島田市)を指定した。



接岨峡温泉会館

### ○川根本町過疎地域持続的発展計画の策定について

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴い、令和3〜7年度の計画を議会でも可決した。

### ○工事請負契約の変更契約の締結について

令和2年度の林道施設災害普及事業林道千頭嶺線災害復旧工事の変更契約の締結を議会でも可決した。(令和2年7月梅雨前線豪雨災害)



千頭嶺線災害状況

## 補正予算

### ○令和3年度川根本町一般会計補正予算(第3号)

グループホーム居住環境整備事業補助金(グループホームの開設に要する備品等)200万円、尾呂久保飲料水供給施設移転(自然災害による地層の強度低下)のための測量設計地質調査業務費1500万円、参議院補欠選挙の経費など2230万円を追加し、予算総額を57億9930万円とした。



グループホームとくやま 11月中旬完成予定

### ○令和3年度川根本町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

国庫補助金の精算による返還他、町の基金からの繰入金金の減額などにより、787万4千円を追加し、予算総額を13億2427万4千円とした。

### ○令和3年度川根本町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

大雨等による災害復旧費としての修繕費の追加、7月期の水道使用料の免除における減額などにより、1448万5千円を追加し予算総額を2億8676万円とした。

### ◎最終日の日程

認定第1号〜第7号の令和2年度川根本町一般会計及び特別会計決算認定について、認定議案は決算特別委員会へ付託され、審査及び現地調査を経て、9月21日に全員賛成で可決した。

# 新しい12人の議員を紹介します (議席順)



さ さ き な お や  
佐々木 直也

35歳。子育て、教育、環境、医療、商業など、あらゆることが未来に繋がるように。熱く、楽しく、そしてリアルにこの町のことを語り、一緒に創っていきましょう!一生懸命やります!

(千頭・飲食業)



なか の ひろかず  
中野 浩和

「元気に明るく」をモットーに、力強く働きます。町民の皆さんの思いが、行政を変えます。近未来を見据え、小さな事から共に考えて行きましょう。

趣味:「ナンプレ」

(坂京・農林業)



ふじた いたる  
藤田 至

私の公約は行政改革ですが、この中には大きな四つの柱が有り、その中の一つが町議会議員の定数削減です。公約実現のため、また川根本町の町づくりのために全力で取り組みます。

趣味:ゴルフ、旅行

(久野脇・無職)



さわし しょうし  
澤西 省司

出陣式で多くの皆様からの温かいご支援を感じ、そのままの勢いで選挙活動を行い、当選させていただきました。

町民の生活を第一に考えて、住みよい地域づくりを目指します。

(高郷・無職)



いしやま きみお  
石山 貴美夫

選挙結果を受け、まず議員数削減と行政スリム化実行。私の思いの原点『安心して、年を重ねられる町』実現に向け、医療・介護等日々安心の土台を固め、産業・経済を上積みすることを軸に頑張ります。

(元藤川・農業)



おおたけ かづこ  
大竹 勝子

医療福祉等の現場で働く人達の待遇を良くし、働き手を増やし、若い人達の雇用を守り、人口減少に歯止めをかけ、子育てしやすい活気ある町づくりに、皆さんの声を力に頑張ります。

(小長井・看護師)



のぐち なおじ  
野口 直次

議員仲間12人とのチームワーク、相互理解を深めながら、探求心を忘れずに何事にも取り組みます。また、感謝の気持ちを持ち続けて努力していきたいと強く思っています。

(水川・農業)



なか の あきら  
中野 暉

地域に活力ある町づくりに努め、皆が安心して住みやすい地域町づくりを目指し、『未来へ希望ある川根本町』を努力いたします。

趣味:スポーツ

(崎平・農業)



なかざわ そうや  
中澤 荘也

「誠心誠意」を旨とし、皆さんの思いや声を議会、行政に届ける役割を担わせていただきたいと思えます。まずは、皆さまの付託に応えるため、議会改革(定数の見直し等)に着手致します。

(地名・行政書士)



なか だ たかゆき  
中田 隆幸

今回の選挙で、五期目の議員となりました。思えば初当選は川根本町が誕生した時でした。あれから十六年が経ち議会基本条例など議会改革等を進めてきました。今後も議会全体で町の為に努力します。

(小長井・建築業)



なかはら みどり  
中原 緑

議員2期目、町民の皆様のひとりひとりの暮らしの豊さ、満足度アップに貢献します!町の現状を皆様に分かりやすくお知らせし、皆様の現状を町にしっかり届けて風通しの良い町を目指します。

(千頭・自動車修理販売事務)



すぎやま ひろみつ  
杉山 広充

「徳不孤 必有隣」町内の現状把握に努め、「住民第一」「現場第一」で、川根本町の課題解決を目指します。そして、誰もが「安心して暮らせる町づくり」に全力を注ぎます。

趣味:史跡巡り

(徳山・会社役員)

# 一般質問

質問の概要を発言順に掲載します

中澤 莊也 議員

12ページ

- 1 人工透析センターを建設する考えは

中原 緑 議員

13ページ

- 1 町長がめざした町の姿と政策、成果は

9月定例会最終日に一般質問を行いました

## 2人の議員が町政を問う！

あの一般質問

どうなったやあ～

質問者：石山貴美夫 議員

奥大井湖上駅のトイレ改善を！

(令和元年6月25日)

**Q. 観光客の増加が予想される湖上駅トイレの整備を緊急的に実施していただきたいが**

A. 観光商工課長：トイレ整備計画については、マイカーでの来訪者に対応するための駐車場整備等とあわせ、検討していく必要があると考えます。

### 現 状

奥大井湖上駅周辺は近年メディアで取り上げられ、年々来訪者が増加している。駅の上段にあるレイクコテージ奥大井には、和式トイレが1台しかなく不便をきたしていたが、令和2年度事業において、洋式トイレ2台に改修した。(本誌8ページ 現地調査報告「レイクコテージ奥大井トイレ改修工事」参照)尚、駐車場に関しては、新たに17台分増設し、計26台が駐車可能になった。

### 効 果

奥大井湖上駅のみならず接叺地区全体のトイレを改修し、ユニバーサルデザイン化を図り利便性が向上した。トイレ増設による混雑緩和や手洗器の非接触水栓化は、新型コロナウイルス感染症対策にもつながると考えられる。



レイクコテージ

# 問

## 人工透析センターを建設する考えは

# 答

## 人的、ランニングコスト等の点で難しい



中澤 荘也 議員

### 人工透析患者等への支援について

#### 質問

特定健診において、腎臓の機能数値が悪く、食生活等の改善をしないと、人工透析治療が必要となる可能性があると診断された方々の推移について伺う。

#### 健康福祉課長

今後、必ずしも人工透析治療が必要となる可能性があるという形ではないが、注目しているデータとして、その傾向を見る数字として、国保データベースで腎機能が低下していると判定された方々（eGFRの数値が50

以下）の人数、これ把握している。平成29年度110人、30年度132人、令和元年度129人、令和2年度183人となっている。年度において受検される方、その人数は異なり、我々としては、検診を受検する方の勧奨を行っているのので一概には言えないが、その割合については、増加傾向にあるというふうに読み取れる。

#### 質問

人工透析患者やその家族等の聞き取り調査やアンケート実施する考えはあるか。

#### 健康福祉課長

腎臓の関係については対象者の方が特定される。通常の業務では把握できるので、ケースごとの対応ということを中心に行っている。必要なことについては、担当課、あるいは高齢者福祉課と情報を

共有しながらケースごとに対応していく方針である。

#### 質問

人工透析治療を行っている方々やその家族等の負担は大きい。人工透析センターが近くにあったらという声を聞く。人工透析センターを建設する考えはないか。

#### 町長

通院による透析治療は、2日に1回程度の通院が必要であり、非常に多くの時間と費用が生じ、体力も消耗することも承知をしているところである。

当町には、現在15人の通院による透析治療を受けている町民がおり、この方々の日々の生活を思えば、人工透析センターが近くにあり、当然法面の草刈り等が河川維持機能に必要な場合は、町が行うべきであるというふうなところである。しかしながら、現状では、人

### 普通河川の維持管理について

#### 質問

普通河川の維持管理を行うのは町の責任であると考え。現在、地権者等が行っている法面の草刈り作業等を町の予算の中で行う考えはないか。

#### 町長

町が担うべき部分は、川が河川として基本的な機能を維持できるように対応することであり、当然法面の草刈り等が河川維持機能に必要な場合は、町が行うべきであるというふうな考えでいる。

#### 質問

各自治会が行っている環境美化作業への支援の拡充を図る考えはないか。

#### 建設課長

現在、河川愛護事業費補助金として、自治会ごとに均等割額1万円に加え、河川愛護事業に要する経費を予算の範囲内で支給している。自治会が取り組んで

いただける活動は河川愛護思想に基づいた取組であるので、今後も、予算の範囲内で支援していきたいと考えている。



地名用水法面の状況

# 問

## 町長がめざした町の姿と政策、成果は

# 答

### 町民の「絆」を取り戻し「礎」をつくった



中原 緑 議員

#### 町長がめざした町の姿と政策、成果について

##### 質問

8年間の成果を伺う。

##### 町長

町が混乱するなか当选した8年前は「絆」、次の4年は将来への「礎」を目標に掲げて町政に取り組んだ。

具体的には高度情報基盤整備の着手、それによるIT企業「ゾーホージャパン」サテライトオフィスの誘致、南アルプスユネスコエコパーク認定、茶草場農法世界農業遺産の指定、美しく品格ある邑連合への登録、湖上駅

のクールジャパンアワード2019推奨。また、「一生に一度は渡ってみたい吊り橋」(寸又峡)の認定と観光客増加対応、甜茶・抹茶工場の誘致、川根高校生の全国公募、大井川鉄道(トーマス)による賑わい創出。最近では新型コロナウイルスの円滑な接種などがある。

##### 質問

リニア関係では、「自然環境を守らなければ町の将来のビジョンは描けない」という信念を持って対応した。特に工事による水量低下だけでなく水質低下も強く主張してきた。また、大井川流域としての一体感創出のため、静岡市の井川までを周遊できる「閑蔵線の2車線化」の必要性を訴えてきた。川勝知事が提唱する長野県、山梨県を含めた広域連携構

##### 質問

寸又峡、夢のつり橋の入場有料化の考えは。

##### 町長

慎重に対応して有料で対応したい。一級の観光地は有料化すべきだといわれている。必要であれば、当然対応すると考える。

##### 観光商工課長

有料化には、徴収、関係機関との協議、受け皿となる組織づくりが必要になる。地元、関係団体とも協議、調整していく。

#### 少子化対策

##### 質問

町の施策を伺う。

##### 企画課長

乳幼児相談・就業支援(子育て支援施設、保育園、放課後児童クラブ)・インフルエンザ予防接種無料化・結婚新生活支援事業などを進めている。

##### 質問

出生数の減少状況に對して、どのように捉えているか。

##### 企画課長

何が足りないか分析が至っていない。子育ての支援体制が一番で、親子留学的なことも今後大切と考えている。

##### 質問

保育料の減免は考慮すべきと思うが。

##### 健康福祉課長

町財政全体的なことも踏まえて検討していくことになる。

#### 川根本町教育ビジョン

##### 質問

来年から始まるコミュニケーションスクールについて

##### 教育総務課長

学校運営に地域の方々に参画していただくもので、新たな学校教育ビジョンの大きな柱になるものと考えている。

##### 質問

7月30日に行われたワークショップ(地域・保護者・学校関係者参加)のテーマ、10年後にどんな町になっていたらいいかな?で出た各アイデアが素晴らしかった。今後大事(ベース)にしたいと考えている。

##### 教育長

10年後に望む思いを盛り込み、新しい教育ビジョンを作っていきたいと考えている。



「10年後の川根本町」を考えるワークショップ

# についてお知らせします。

## 事業の目的

森林環境譲与税を活用し、間伐及び間伐を促進することで森林の有する公益的機能の増進を図る。主な取組みは、森林経営管理制度の推進、荒廃森林等による地域課題の解消に向けた取組み、木材利活用を促進する。



## 令和2年度の事業の内容と実施地区

◎実施総事業費 約4,500万円

◎景観等支障木伐採

久保尾、水川、柳三、坂京、梅高、  
瀬平、藤川、久野脇、地名

◎里山林整備

徳山、奥泉、桑野山、平栗、坂京、  
田代、柳三、崎平、久野脇

## 事業の効果等について

里山林等整備事業では、多くの自治会の要望箇所の景観整備、危険木の伐採等を行い、地域課題の解消等を行うことができました。

下の写真は、「徳山森ん段森林公園」の現在の姿です。



# 「森林環境譲与税事業」

## “徳山森ん段森林公園”（仮称） 企画書

令和2年4月1日

川根本町徳山1649  
徳山区自治会  
TEL 0547-57-2843

### 1 現状の問題点と目的

- ・区内中央部の高台（丘）は森ん段とよばれ、縄文遺跡が発見され戦国時代には土岐氏の館があったとされている。
- ・高台の上は茶畑が広がっており、かつては西側の河岸段丘の上からは展望も良く、区民からは森ん段と親しまれていた。
- ・現状、河岸段丘斜面は、杉・桧が大きく成長し、火の見櫓よりも高くなり、展望も効かなく区を東西に二分している。また、冬季日陰による道路凍結もあり、電線への接触の危険もある。
- ・森ん段下の民家は、成長した樹木により日照が遮られ（12月の日の出11時20分頃）、また、春先には大量の花粉が発生し、生活環境・健康・景観上から地域住民の改善要望が強い。



生活環境・景観の悪化・樹木の遮りによる展望場所の消滅と、区民憩いの場の消滅

見通しのきかない樹木を伐採して、里山を再生し、遊歩道・展望台を設置して、区民が憩う“森ん段森林公園（仮称）”に整備する。



森ん段森林公園(仮称)のイメージ図

### 2 効果

- ①民家の日照時間が確保され、生活環境が良くなり、安心して暮らしやすくなる。
- ②道路の冬季凍結が解消され、樹木の接触・落下による電線への影響が消滅する。
- ③里山が再生され、散策路ができ住民の憩いの場となり、健康にも寄与する。
- ④見通しを遮っていた樹木がなくなり展望場所ができ、景観が改善され、子供たちの遊び場、教育の場となり故郷を愛する心を育み、健全育成に寄与できる。
- ⑤徳山のイメージアップにつながり、“美しく品格のある邑”の価値を高める。

### 3 スケジュール（案）

令和2年度…伐採・間伐      令和3年度…植栽      令和4年度…散策路・展望台設置

### 4 管理・その他

- ・本事業は森林環境譲与税による里山林整備事業で実施する。（伐採・植栽・遊歩道）
- ・土地所有者及び区の負担はなく、土地所有者の協力も得られている。
- ・徳山区への引き渡し後の管理は、年1回道路愛護デー（道作り）の時、現状（下部草刈り）のほか、周辺及び散策路の草刈りを実施する。その他有志による任意団体（“森ん段を愛する会”（仮称））を設立し、公園全体をより良くするための検討および樹木の育成・管理を行う。

## パーマカルチャー視点での森創り&スクールフォレストプロジェクトとは？

発起人 横山慎一郎氏（水川区、おろくぼ）

パーマカルチャーをわかりやすく説明しますと、「自然と人が共に健康であり、共に支え合う共生関係を育みながら、永续性を豊かに動かしていく仕組み」と言えます。自然界の全ての存在は、“自らが生きて他を生かす”共生関係にあり、そういった“自然界を流れる摂理”に人間（動物）も倣い、寄り添う関係を創造的に構築していくことを目指します。それは広く捉えれば、自然との関わり（暮らし）のみならず、人間社会やサピエンスという種の“在り方”にまでパターン性を見い出せることが、この現代社会に必要なとされる問題解決への応用力として期待されています。

さて、<sup>シシカミ</sup>天鹿プロジェクトの森創りでは、われわれ人間が積極的に森に関わることを通じて、森環境の生態系が豊かに育つことを意識しています。不健康な木を間伐し、木の駅に出材しながら、自然植生（実生更新）で育つ落葉照葉樹の幼樹を守りながら、七世代先（千年という時間軸）までを見据えた自然林ベースの針広混交林創りを目指しています。



自ら石で造った“パーマカルチャーガーデン”  
自然の美を感じ取れるかな？（第一小）

そこに蜜源樹木や肥料木、食べられる樹木など、蜜蜂が住まう環境や僕たちのニーズも混ぜ合わせながら、アグロフォレストリーの手法も活かして、楽しみながら、未来の人達と永続的に続く森創りの活動を共有していこうと試みています。

この活動は小学校の敷地を舞台としたスクールフォレストプロジェクトに繋がることとなり、第一小学校のパーマカルチャーガーデン授業を通して、子ども達と共に“自然の美や不思議さ”を感じながら、地域社会の未来を切り拓くプロジェクトへと羽を広げてきております。

### ◆ 12月定例会の予定 ◆

12月1日 (水)	9:00~	本会議（定例会・初日）
	本会議終了後	議会運営委員会・ 全員協議会
12月9日 (木)	9:00~	本会議（定例会・2日目）
	本会議終了後	議会運営委員会・ 全員協議会
12月17日 (金)	9:00~	本会議（定例会・最終日）
	本会議終了後	全員協議会

- 本会議場は役場本庁3階です。
- 日時は変更することもありますので、詳しくは議会事務局（☎56-2229）までお問い合わせください。

議会はどなたでも傍聴できます。

### ●表紙の写真



バトンに力をこめ、全力でつなぐ

#### 「なかよし班リレー」

快晴の当日。スローガンである「協力しがんばり続ける 夕宮の子」のもと、赤組、白組対抗で取り組みました。

競技・演技・応援・各部の運営など、全校児童57名が一丸となり、大成功の運動会となりました。

### 編集後記

広報委員としての二年間、あっという間に過ぎてしまいました。

まさに光陰矢のごとくでした。

皆様に手に取って読んでいただけ「議会だより」を目指して、文字を少なくしたり、イラストや写真を入れるなど様々な工夫をしました。

皆様に愛され、親しまれる「議会だより」になったでしょうか。

それは、皆様から「議会だより」を読んでの感想や議会に対するご意見が届けて分かります。是非、一読して読後の感想をお知らせ下さい。私たちの努力が少しでも報われる瞬間です。

#### 【議会広報委員会】

委員長  
副委員長  
委員

澤山 西  
杉山 省  
中野 直  
原口 次  
緑 庄也 充